

平成25年行政事業レビューシート (復興庁)								
事業名	原子力被災者環境放射線モニタリング対策関連交付金		担当部局庁	復興庁		作成責任者		
事業開始・終了(予定)年度	平成25年度～平成29年度		担当課室	統括官付参事官(予算・会計担当)		参事官 大野 秀敏		
会計区分	東日本大震災復興特別会計		政策・施策名	復興施策の推進 東日本大震災からの復興に係る施策の推進				
根拠法令 (具体的な条項も記載)	原子力規制庁設置法第4条第1項第6号		関係する計画、通知等	総合モニタリング計画(平成25年4月1日)				
事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	福島県及び12市町村等による地域の実情に応じた空間線量率の測定や生活環境の様々な分野(大気、地下水、海域、土壌、森林など)の放射性物質濃度等の測定を行うことにより、避難解除等区域への帰還における生活環境に関する住民の安心に資する。							
事業概要 (5行程度以内。別添可)	避難解除等区域への帰還に伴い、生活環境における放射線被ばくに係る住民の安心等を確保するため、福島県及び12市町村による地域の実情に応じた空間線量率の測定や生活環境の様々な分野(大気、地下水、海域、土壌、森林など)の放射性物質の濃度測定に対して、必要な経費を福島県に対して交付するもの。(東日本大震災からの復旧・復興に係る経費)							
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 委託・請負 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input checked="" type="checkbox"/> 交付 <input type="checkbox"/> 貸付 <input type="checkbox"/> その他							
予算額・執行額 (単位:百万円)			22年度	23年度	24年度	25年度	26年度要求	
	予算の状況	当初予算				1,306	1,306	
		補正予算				-		
		繰越し等				-		
	計					1,306	1,306	
	執行額							
執行率(%)								
成果目標及び成果実績 (アウトカム)	成果指標			単位	22年度	23年度	24年度	目標値 (年度)
	本事業は、福島県等が放射線モニタリングを柔軟に実施するための環境を整備するために交付金を交付するものであり、定量的な数値目標を設定することは困難である。このため、以下の定性的目標を定める。 ・住民のニーズを踏まえ、福島県等がモニタリングを柔軟に実施できる環境を整備する。		成果実績					住民のニーズを踏まえ、福島県等がモニタリングを柔軟に実施できる環境を整備する。
			達成度	%				
活動指標及び活動実績 (アウトプット)	活動指標			単位	22年度	23年度	24年度	25年度活動見込
	基金事業によって放射線モニタリングが実施された地域(自治体数)		活動実績 (当初見込み)	自治体数		( )	( )	( )
単位当たりコスト	-		算出根拠		-			
平成25・26年度予算内訳	費目	25年度当初予算	26年度要求	主な増減理由				
	設備費	309	309					
	雑役務費	998	998					
	計	1,306	1,306					

事業所管部局による点検					
	項目		評価	評価に関する説明	
国 費 投 入 の 必 要 性	広く国民のニーズがあるか。国費を投入しなければ事業目的が達成できないのか。		○	地方自治体が行う放射線モニタリングを支援する事業。 今後の住民の帰還に伴い、住民の安心のために生活空間等における放射線モニタリングを実施するものであり優先度の高い事業である。	
	地方自治体、民間等に委ねることができない事業なのか。		○		
	明確な政策目的(成果目標)の達成手段として位置付けられ、優先度の高い事業となっているか。		○		
事 業 の 効 率 性	競争性が確保されているなど支出先の選定は妥当か。		-	-	
	受益者との負担関係は妥当であるか。		-		
	単位当たりコストの水準は妥当か。		-		
	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。		-		
	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。		-		
	不用率が大きい場合、その理由は妥当か。(理由を右に記載)		-		
事 業 の 有 効 性	事業実施に当たって他の手段・方法等が考えられる場合、それと比較してより効果的あるいは低コストで実施できているか。		-	-	
	活動実績は見込みに見合ったものであるか。		-		
	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。		-		
重 複 排 除	類似の事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担を行っているか。 (役割分担の具体的な内容を各事業の右に記載)		-	-	
	事業番号	類似事業名	所管府省・部局名		
点 検 結 果	基金事業の整備にあたっては、自治体と十分に調整を図りつつ実施していく。				
外部有識者の所見					
行政事業レビュー推進チームの所見					
-	帰還の促進に向けたきめ細かなモニタリングを実施するため、引き続き効率的・効果的な予算の執行に努めること。				
所見を踏まえた改善点/概算要求における反映状況					
-	引き続き効率的な予算の執行に努めていく。				
備考					
関連する過去のレビューシートの事業番号					
	平成22年		平成23年		平成24年
					25新-30

※平成24年度実績を記入。執行実績がない新規事業、新規要求事業については現時点で予定やイメージを記入。

資金の流れ  
(資金の受け取り  
先が何を行っている  
かについて補足  
する)(単位:百万  
円)

